



会報シルバー
たからづか

第 **157** 号

令和元年5月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040



就業風景

えべっさんの福笹や福箕（ふくみ）
に使われるお面づくり

詳細は4Pの就業先訪問を「覧ください」。

（撮影・広報委員／今榮 満夫）

地区・地域班特集

地区・地域班活動のさらなる活性化のお願い

地区・地域班ブロック長

丸山 長資



会員の皆様には、日頃の就業やボランティアなどにご活躍いただきありがとうございます。

地区・地域班活動は自主的、主体的組織であり、会員一人ひとりがそれぞれの役割を果たして協力し、助け合いながら活動することにより、地域社会に進んで貢献することとあります。

去る2月5日の地区・地域班、地区長座談会(会報第156号地区・地域班特集に詳細を掲載)では、最近シルバー人材センターの魅力が減ってきているのではないかというご意見があり、地域班活動の活性化が望まれるところであります。

地域班活動が活発な班について内容を見てみますと、地域班総会の開催や清掃ボランティア、親睦会など様々な行事が行われています。

地区・地域班活動の中心はやはり役員の活動が最も重要であり、地区・地域班役員は、班員と当センター事務局の中心に位置するもので、組織運営の重要な役割のひとつであります。

特に、昨年度より実施しているボランティアポイントカードでは、地区・地域班のボランティアもポイント付与の対象となっており、今年度も引続き継続となりましたので、ボランティアへの参加をお願い致します。

地区・地域班によっては活動が低調なところも見られますので、そのような地区・地域班は、近郊ハイキング等の親睦活動を通して、お互いが顔見知りになる事から始められては如何でしょうか。

そのうえで、お手元の当センター規定集にある「地区・地域班設置規定」等を「ご覧いただき、地区・地域班活動にご理解を深めて頂ければ幸いです。

安全委員会だより

緊急重篤事故根絶宣言発表

兵庫県下のシルバー人材センターでは、平成30年12月末時点において、請負で4件、派遣で1件の重篤事故が発生しました。そのうちの4件が死亡事故であり、全国で

最も多い件数となった事態を受けて兵庫県シルバー人材センター協会では、「緊急重篤事故根絶宣言」を発表しました。

当センターにおいても「安全はすべてに優先する」という認識のもと安心して健康に働くことを目指し、「重篤事故をこれ以上出さない」との強い決意をもって就業しましょう。

「兵庫県シルバー人材センター緊急重篤事故根絶宣言」

シルバー人材センター事業において、健康で働く意欲のある高齢者が、これからの人生をいきいきと生きていこうという目的の中で、事故に遭う、あるいは事故の不安を抱えて就業することはあってはならない。

このため、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会では「安全はすべてに優先する」という認識のもと、重篤事故の防止に努めているところであるが、今年度は、現時点において、すでに請負で4件、派遣で1件の重篤事故が発生している。そのうちの4件が死亡事故であり、平成30年12月末時点において、全国で最も多い件数となっている。

特に、剪定作業と刈払機による除草作業での事故については、兵庫県の就業中の1か月以上入院事故の約5割を占めていることから、これらの事故を根絶することが重篤事故の根絶につながるものと考えられる。これについては、平成30年12月に安全就業における基本的事項の徹底をお願いしているところであるが、残念ながら、再びこれらの事故が多発しているところであり、今一度安全就業における基本事項を徹底する必要がある。

例えいかなる経済情勢下にあっても、働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれたりすることは、あってはならない。

すべてのシルバー人材センター関係者が、この意識を共有し、「安全はすべてに優先する」ということを理解し、それぞれが責任ある行動をとることにより、「安心して健康に働くことができるセンター」を目指すとともに、「重篤事故をこれ以上出さない」との強い決意をもって、兵庫県内のシルバー人材センターにおける重篤事故の根絶を目指すことを、ここに宣言する。

平成31年3月19日

公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会
会長 中嶋 千萬城

●2月～3月の事故内容

平成31年3月末現在

前年度	平成30年度	損害	傷害
5件	10件		
1件	2件		

今回(2月～3月)は会員の皆様の安全意識の向上により損害・傷害の事故ともゼロ件でした。

◆安全講習会

平成31年3月29日(金)、平成30年度中に発生した公園班に係る事故を検証し、事故の分析と防止策を協議した。

今年度より、墜落・転落事故防止対策および、車両を運転する前の健康チェックなどをより確実に実践することなどが確認された。講習会には、公園班会員26名が参加した。

互助会だより

◆一喜会、ゴルフコンペ

平成31年3月8日(金)、旭国

際宝塚カンツリー倶楽部にて開催され、19名が参加した。成績は次のとおり。

優勝 大森 茂樹
準優勝 上野 照夫
三位 倉信 実

次回は6月7日(金)、太平洋クラブ宝塚コースにて開催予定です。

講習会報告

◆平成30年度子育て支援講習会

平成31年3月8日(金)、午後1時30分から3時まで、「子どもの事故予防と応急手当、感染症と感染予防に関すること」という内容で、講師に阪神北広域こども急病センターの馬場順子看護師をお招きして当センター3階大会議室にて開催した。誤飲時とはにもかくにも背中をたたく等、実際に行動をするのが大切であることを学んだ。子育て支援就業会員5名、就業希望会員3名、計8名が参加した。

◆平成30年度植木剪定講習会

平成31年2月27日(水)、午前9時30分から午後4時まで、当センター3階大会議室、および市立教育総合センター分室にて植木剪定就業希望会員を対象に講習会を開催した。14名が参加した。



▲具体的な実例で講習を受ける会員



▲剪定作業の実習の様子

地区・地域班だより

◆良元ブロック3地区

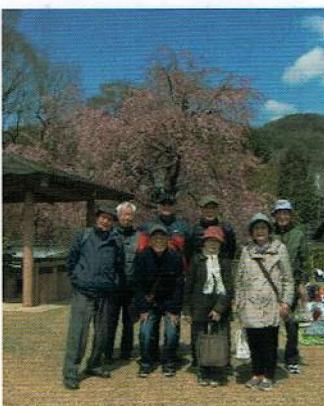
地区親睦花見の会

平成31年4月1日(月)、午前11時から午後12時30分まで、阪神競馬場広場にて良元3地区で花見の会を開催した。13名が参加した。

◆長尾1の2地域班

カップヌードルミュージアム大阪池田の見学および五月山散策

平成31年4月3日(水)、午前9時から午後2時30分まで、池田市のカップヌードルミュージアム大阪池田の見学および五月山公園にて散策を行った。8名が参加した。



▲長尾1の2地域班の皆さん

就業先訪問

えべっさんの福笹や福箕(ふくみ)に使われるお面づくり

今回は、西宮神社他、関東から九州の十日えびすで新春に頒布されている福笹や福箕(ふくみ)に使われるお面づくりを取材する為、当センター1階の作業室を訪問した。



お面の完成品

今年の3月から、恵比寿さんと大黒さんのお面を2名の会員が作成している。作業としては、恵比寿さんと大黒さんの顔の型に所定の粘土を手で押し込み、少し乾燥してから剥がして、次はこれらを屋外で天日乾燥させるといのが主な流れだ。一番手間が掛かるのが、粘土を顔の型に沿って押し込む作

業だとか。薄い板状に断裁された粘土を顔の型に沿ってゆっくりと押し込んでいく。このときの押し方で粘土の厚みにバラツキが出ることもあるそうだ。作業に慣れるまでは厚みが均等にならずに失敗するケースが多かったとか。そばで見ていると手先の器用さや几帳面さが要求される難しそうな作業の感じがした。

「上手にお面が完成した時は、なかなか嬉しいものです」

就業会員のおひとりである宮原会員は、「粘土を型にはめていくだけなので、最初は軽く考えていましたが、実際にやってみるとなかなかうまくいかない奥の深い作業です」と苦労を話される。顔の一部に切れ目が出来たり、鼻が低くなるなどの失敗作も多かったそうで、「簡単そうで難しい作業です。出来かけの茶碗を自分で割ってしまいう陶芸家の心境がよくわかります。ですからうまくできたときは、自信にもなりますね」と宮原会員は一笑された。

当センターで作成したお面は納品後、電気釜で素焼きを5時間、さ

らに絵付けを施して本焼き5時間で「えびす面」に仕上り、そして熊手や箕に飾り付けられて福笹や福箕が完成する。

さて来年は「令和」になって初めての正月。西宮神社では当センター会員の苦労が形になった福笹や福箕が、数多く頒布されることになるのだろう。

(広報委員)佐野 純



▲天日で乾燥させる

事務局だより

◆定時総会の「案内」

令和元年5月30日(木)、午後1時より宝塚ホテル「琥珀の間」(阪急・宝塚南口下車徒歩1分)にて開催の予定です。

詳細は後日送付する議案書に同封の案内をご覧ください。

◆花と緑のフェスティバル

平成31年4月27日(土)・28日(日)、末広中央公園にて開催された「花と緑のフェスティバル」において、事業开拓員によるチラシ配布、独自事業の手芸品やEMボカシなどの販売を行い、当センターのPR活動に努めた。

◆平成30年度「第1回女性の集い」開催

平成31年3月11日(月)、午後1時から3時10分まで、当センター3階小会議室にて女性の集いの次年度活動方針、および女性会員拡大についての意見交換などを行った。女性会員4名、女性理事3名、および事務局含め9名が出席した。



▲女性の集いの様子

◆**会員の状況(3月末現在)**

会員数・平均年齢は3月末、入退会者は2月～3月

会員数	920名
(男性会員数)	685名
(女性会員数)	235名
入会者数	17名
退会者数	26名
平均年齢	73.6歳

配 分 金

支払い日のお知らせ

5月就業分 6月14日(金)
 6月就業分 7月12日(金)
 7月就業分 8月15日(木)

☆**お願い**

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いいたします。

☆**チラシ配布就業会員募集**

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていますので、事務局窓口までお越しください。

☆**清掃業務就業会員募集**

清掃業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問合わせください。

☆**家事援助業務就業会員募集**

家事援助業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問合わせください。

会員の広場

川柳

春迎え山の笑顔も満開に

♥ 富吉 博彦

臨月に新元号を待ちわびる

♥ 織山 茂

俳句

五月晴風の流れて鯉泳ぐ

♥ 川嶋 兼雄

新緑の一山越へて有馬の湯

♥ 中嶋 諒子

生きものが匂いだしたり草いきれ

♥ 橋本 千津子

節太き指にまかせて草を抜く

♥ 羽山 淳子

山茶花の散りちる花や庭清か

♥ 丸山 長資

雨音が睡魔を誘う菜種梅雨

♥ 安井 修

◆**新広報委員紹介**



杉山 ちよ 委員

4月から広報委員に加わりました。シルバー会員になって早や5年が経過します。チラシ配りや子

育て支援の就業をしています。「元気で暮らすこと」をモットーに、適度な運動と自家菜園で作る美味しい野菜を食することを心がけています。これが私の健康維持の秘訣です。

今後、広報誌を介して、皆様の活動の様子や情報をお届けしたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

○**広報委員退任**

平成25年から広報誌編纂にご活躍されました中嶋諒子委員は本号を以って退任されました。

長い間ありがとうございました。

編集後記

今回はオレオレ詐欺の手口を紹介しています。オレオレ詐欺や架空請求詐欺など詐欺の手口が巧妙に多様化してきており、狙われたら逃れようのないアポ電のように殺人を犯してまでお金を強奪するところまで凶悪化してきています。今号の記事が少しでもお役に立てればと思います。

(広報委員) 今榮 満夫

— オレオレ詐欺に注意!! —

警察官を名乗るオレオレ詐欺に注意!!

具体的な手口

- ◎警察本部や警察署の警察官を名乗り「犯人を捕まえたなら、あなた名義の通帳が発見された」と不安をあおる。
- ◎安全な口座に移し替えると嘘をつき、預金を引き出すよう要求する。
- ◎警察官や銀行協会等を名乗る者が、現金を受け取りにくる。
- ◎▲▲センター等の公的機関、金融機関、百貨店などを装う。
- ◎口座の作り替えのためと称して、キャッシュカードを預かる。

防犯ポイント

- ・警察官や銀行協会等が現金やキャッシュカードを預かることはありません。
- ・個人情報や暗証番号を他人に教えてはいけません。
- ・必ず、相手の身分を確認しましょう。

息子や孫を名乗るオレオレ詐欺に注意!!

具体的な手口

- ◎息子や孫を名乗り「風邪をひいた。声がおかしい」と電話する。
- ◎「携帯電話の番号が変わった」と新たな番号を登録させる。
- ◎後日、トラブル解決を名目として金銭を要求する。
- ◎振り込みではなく、現金を直接取りに来る。
- ◎「お金を持ってきて欲しい」と頼み、県外に誘導する。
- ◎実在の名前を名乗る場合がある。

防犯ポイント

- ・必ず息子や孫の、今、知っている電話番号に、かけ直して確認しましょう。
- ・『今日中にお金が必要』などと急ぐ話には注意しましょう。

日常でお困りのことはシルバー人材センターにご相談ください

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問合わせください。TEL 0797(81)7000

- ・ **家事援助サービス** 室内清掃、窓ガラス・網戸などの清掃、食事の支度・洗濯、お部屋内の片付けや衣替え、ゴミステーションの掃除、買い物など
- ・ **子育て支援サービス** お子様とお留守番、子どもの一時預かり、シルバー出前サービス
- ・ **お庭の手入れ** 植木剪定・施肥、植木の水やり、雑草刈り(機械・手刈り)
- ・ **家屋の手入れ** 簡易な大工仕事・塗装など
- ・ **事務サービス** あて名・賞状書き、ワープロなどでの原稿づくり、パソコン操作指導など
- ・ **空き地・空き家管理事業** 空き地・空き家を敷地の外側から現状確認を行い報告するサービス

シルバー人材センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか?

シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日午後1時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問合わせください。

問合せ先：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター

〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

<http://www.sjc-takarazuka.or.jp>

宝塚市シルバー人材センター

検索

